

もうすぐ始まる映画やドラマ

3月から始まる映画やドラマから、私が気になってるものをご紹介しますね。

「精霊の守り人」原作:上橋菜穂子

キャスト:綾瀬はるか、東出昌大、高島礼子、藤原竜也など。

NHK 総合テレビにて3月19日(土)21時より放送開始。大河ファンタジーという枠で3シーズンに分けて全22話を3年かけて放送される。

原作は出版されて20年。小学生の時に読んだ人も結構いるかな。今では世界中に読者がいる。

「精霊の守り人」は守り人シリーズの一部。2014年に国際アンデルセン賞を受賞した作品「獣の奏者」、2015年に第4回日本医療小説大賞・第12回本屋大賞を受賞した「鹿の王」も上橋さんの作品としては超有名。私は「鹿の王」はまだ文庫になってないから読んでないけど、それ以外は全て読破した。面白くて早く次が読みたくてたまらなくなってきた。それまではミステリーを読むことが多かったけど、上橋さんの本と出会ってファンタジーも大好きになった。そもそも私の頭の中はファンタジーでできてるようなもんだからなあ〜。

「さよならドビュッシー」原作:中山七里

キャスト:東出昌大、黒島結菜、武田真治、北大路欣也など。

日本テレビにて3月18日(金)21時より放送

主演の東出さんと黒島さんによれば、この役が決まったらすぐに自宅にピアノが送られてきたとか。初心者がどれだけ短期間の練習で超絶技巧&作曲家が曲に込めた想いを伝えるピアノ演奏ができる(できてるように見える)演技ができるかが見ものだなあと思ってる。上記の「精霊の守り人」にも東出さんが出演するけど、私は特にファンとかではないんだ。たまたま好きな本が映像化され、同時期に放送されることになり、そのキャストが重なったってだけ。

中山七里さんは、「さよならドビュッシー」で第8回「このミステリーがすごい!」大賞を受賞した。その後出版された「おやすみラフマニノフ」「いつまでもショパン」も、主人公の岬洋介が大活躍する。彼は司法試験にトップ合格し、司法修習生の途中で「やっぱり自分がやりたいのはこれじゃない」って法曹界を去り、ピアニストとなった。彼とかかわる多くの人たちが、彼との関係性の中で才能を開花させたり、どん底の中から生きる希望を見出したりしていく。彼が語る言葉一つひとつには説得力がある。常に冷静さを忘れず「さてキミはどうする?」と悩める子羊に真摯に向き合う。けれど相手がどんな状況にあろうとも、彼はその人を見捨てない。自分の足で立て!とエールを送り続ける。

「ちはやふる」原作:末次由紀

キャスト:広瀬すず、野村周平、真剣佑、松田美由紀、國村隼など。

上の句3月19日(土)、下の句4月29日(金)より、二部作連続公開

内容を説明するまでもないかな。競技かるたに青春を燃やす物語。競技かるた部は文科系部活と思いきや、畳の上の格闘技とも呼ばれる厳しく激しいスポーツだ。キャストはみんな初心者だったが、映画出演を機に競技かるたにはまった人もいろいろ。「ちはやふる」はコミックとアニメで有名になった。原作の主人公、綾瀬千早像が自分の中にすでにできあがってしまってる人には、広瀬すずが千早を演じることに抵抗を感じることもあるようだ。私も先に本を読んでから映画を見ると、そのキャスティングに違和感を感じることもある。でも逆に「イメージとぴったり」というのもあり、そういうギャップを楽しんでみるのも面白いかもね。